

中央アフリカ人の心に残る日本の ODA

在カメルーン日本国大使館

(中央アフリカ兼轄)

以下は国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッション（MINUSCA）で勤務されていた山田悦子さんから伺ったお話です。

現地の方とお話しする機会があり、私が日本人と分かると、かつて日本の ODA で行われた国道工事の様子を現地の方が、日本人が作った道路は丈夫で壊れない、当時日本人有志が日本語教室を開いていたのが嬉しかった、日本人は優しくなったなど彼らの目から見た日本人とのエピソードを熱心に話してくれました。

工事が完成したのは 2000 年で、20 年以上前の出来事ですが、日本の ODA が今も現地に欠かせないインフラとして残り、そして日本人の仕事ぶりや態度、交流が現地の方の心の中に今も残っていることに感動しました。



参考リンク : <https://www.jica.go.jp/oda/project/9808900/index.html>